

児童朝会 校長の話 4月10日

今日はかわいい転入生を紹介します。

(「あさっち」が朝礼台に登場)

皆さんにアイディアを募集して決定した150周年記念マスコットキャラクターに命が吹き込まれました。自己紹介してね。



「150周年マスコットキャラクターに就任しました、あさっちです。好きなことは、浅草小学校のみんなの笑顔を見ることです。得意なことは、1

50周年を盛り上げることです。浅草小学校は150歳！みんなで盛り上がってお祝いしましょう！」

あさっちありがとう。これから1年間よろしくお願ひしますの気持ちを込めて、拍手を送りましょう。

あさっちは緑色でしたね。「あさっち」はスズカケノキの葉っぱです。葉の先が5つに分かれています。それで、「あさっち」も先が5つに分かれています。実は、浅草小学校の校庭にスズカケノキがあります。皆さんの右後ろ、校庭の隅に生えている木です。今、若葉が出てきていますが、葉を見たら出てきたばかりの若葉なので先が分かれています。落ち葉を拾って広げてもみたら、しっかり5つに分かっていたので、秋までには大きく成長して、この写真の様な葉になるでしょうね。スズカケノキはブラタナスとも言われ、幹に斑点模様があるのが特徴です。



若葉かげ
とぶしらなみ
すずかけそよぐ
風も清く

この言葉は何に出てきますか？ 「校歌」

そうですね。浅草小学校の校歌の2番の出だしです。校歌にスズカケノキが出てきます。

「若葉かげ … すずかけそよぐ」ですから、すずかけ

の若葉が風に揺れているのでしょう。「飛ぶ白波」とは水面に風に当たって白い波が立っている様子です。どこの水面かというと、プールです。校歌を作詞した土岐善麿さんはプールを思い浮かべながらこの歌詞を作ったと言われています。なぜプールかというと、昭和5年、世の中の学校にはまだプールが無いずっと昔の時代に、当時の校長先生がプールを作って子供たちの体を鍛えようと、台東区内で初めてのプールが浅草小学校にできたそうです。それで自慢のプールだったのです。おそらくプールの近くにスズカケノキが立っていたのではないのでしょうか。スズカケノキがもしかしたらもっと何本もあったのかも知れません。今の校舎を建てるときに、スズカケノキを大切に1本残したのではないのでしょうか。それで、スズカケノキが浅草小学校のシンボルマークになっています。

スズカケノキの葉の形をした「あさっち」です。普段は校長室にいます。特別な日には皆さんの前に出てきます。今日は1年生が初めて校庭に出て、皆さんと一緒に並んで児童朝会を行いました。それで「あさっち」が出てきてくれました。これから1年間「あさっち」と一緒に150周年をお祝いしていきましょう。